

第 6 回

川づくりながる発表会

開催報告

川づくりながる発表会



- 平成 22 年 2 月 20 日 (土)
- 明法中学・高等学校 講堂

新河岸川流域川づくり連絡会
新河岸川総合治水対策協議会



開催概要

趣旨

本発表会は、流域内の小学生から大学生が行った、川や水、環境を対象にした様々な学習・研究、ボランティア等の活動の成果を発表し、意見を交換することで、学生たちが感じたり、考えたりしたことを知り、世代を超えた交流が生まれるきっかけをつくる場とすることを目的に開催されました。

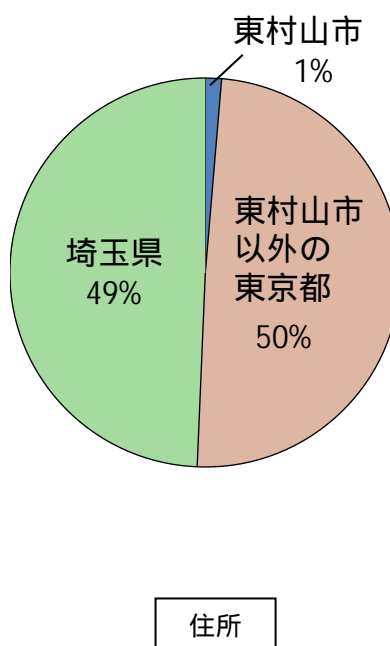
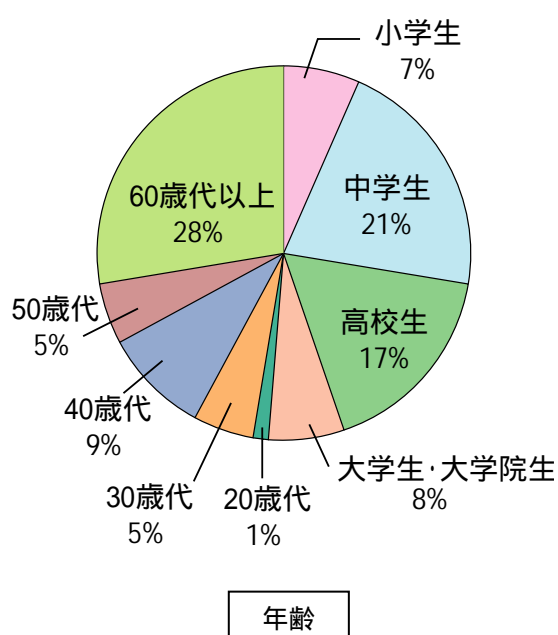
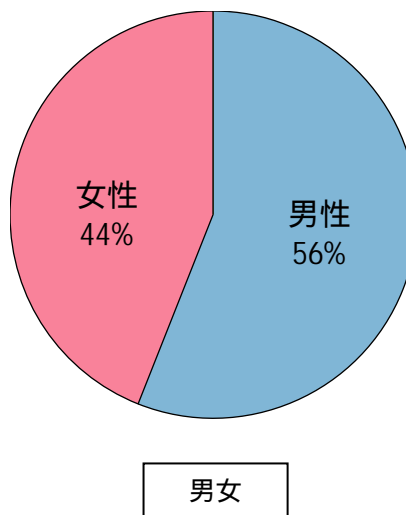
開催日：平成 22 年 2 月 20 日 (土) 13:00~16:00

開催場所：明法中学・高等学校 講堂

主催：新河岸川流域川づくり連絡会
新河岸川総合治水対策協議会

参加人数：128 名 (パネル閲覧者、事務局除く)

参加者構成比：





当日プログラム

時間	内容	当日の様子									
12:00	受付										
13:00	開会										
13:00	挨拶	 <p>開会に先立ち、明法中学・高等学校長と荒川下流河川事務所調査課長より挨拶がありました。今回会場を提供して頂いた明法中学・高等学校長からは、「今後ともこの活動が盛り上がり、環境に教育に成果が上がればと願っている」というお話がありました。</p>									
13:10	<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">発表会</td> <td>発表 (前半)</td> <td rowspan="6">  <p>川をはじめとして身近な自然環境など、様々なことをテーマに学生たちが発表を行いました。来場された方々は学生たちの発表を熱心に聞いていました。学生たちの発表に対して、コメンテータからの質問やコメントがありました。また、尚美学園大学・バーベナコーラス・スバル会コーラス 他の皆さんによって「不老川の応援歌」などのコーラスが披露されました。</p> </td> <td rowspan="6">  <p>発表会と平行して、会場内ではパネルの展示が行われました。休憩時間などに熱心に見入る人もいました。</p> </td> </tr> <tr> <td>コメント質問</td> </tr> <tr> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td>コーラス</td> </tr> <tr> <td>発表 (後半)</td> </tr> <tr> <td>コメント質問</td> </tr> </table>	発表会	発表 (前半)	 <p>川をはじめとして身近な自然環境など、様々なことをテーマに学生たちが発表を行いました。来場された方々は学生たちの発表を熱心に聞いていました。学生たちの発表に対して、コメンテータからの質問やコメントがありました。また、尚美学園大学・バーベナコーラス・スバル会コーラス 他の皆さんによって「不老川の応援歌」などのコーラスが披露されました。</p>	 <p>発表会と平行して、会場内ではパネルの展示が行われました。休憩時間などに熱心に見入る人もいました。</p>	コメント質問	休憩	コーラス	発表 (後半)	コメント質問	
発表会	発表 (前半)		 <p>川をはじめとして身近な自然環境など、様々なことをテーマに学生たちが発表を行いました。来場された方々は学生たちの発表を熱心に聞いていました。学生たちの発表に対して、コメンテータからの質問やコメントがありました。また、尚美学園大学・バーベナコーラス・スバル会コーラス 他の皆さんによって「不老川の応援歌」などのコーラスが披露されました。</p>			 <p>発表会と平行して、会場内ではパネルの展示が行われました。休憩時間などに熱心に見入る人もいました。</p>					
	コメント質問										
	休憩										
	コーラス										
	発表 (後半)										
	コメント質問										
15:00	交流休憩時間	<p>会場に展示されたパネルや発表内容に示されたクイズのヒントを探す「新河岸川流域クイズラリー」が行われました。休憩時間の終りには出題校からクイズラリーの解答が発表されました。</p> 									
15:45	表彰状授与	 <p>荒川下流河川事務所調査課長より、各発表校の代表者へ表彰状が授与されました。みんな無事発表を終えた安堵の表情で表彰状を受け取っていました。</p>									
15:55	講評	<p>新河岸川水系水環境連絡会 代表 菅谷さんから、「6回目を迎えた今回は、流域外からの参加があったり、もっと源流の川の話が出たりと、川でのつながりが流域の中から発信されて広がってきている。年々、つなげて行って欲しい」とう講評がありました。</p> 									
16:00	閉会										
16:00	記念撮影	 <p>最後に行われた恒例の記念撮影は、流域を越え、世代を越えたつながりを感じたひとコマでした。</p>									



発表校紹介

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)公認
早稲田大学所沢キャンパス湿地保全プロジェクト

湿地を保全するために私たちが取り組んでいること



ヨシの刈り払い



棚田のあぜづくり



保全活動を始めて7年目となる早稲田大学所沢キャンパス湿地保全プロジェクトの活動について発表がありました。どうしてこの湿地を守らなければならないかということについて、かつて里山であったキャンパス内のB地区湿地が、人の生活の変化によって放置されるようになり、そこに棲息する生物も減ってきたことから、再び人の手を入れることによって環境を取り戻す必要があること、狭山丘陵内でも最大級のこの湿地には多くの希少種が棲息しており、また砂川堀の最上流部に位置することから、この湿地と周辺の雑木林を守るとは砂川堀全体の生物の多様性を守り、水を涵養することにつながるなどが述べられました。実際の活動内容については、大学の自然環境調査室の協力を得て生態学的な観点に留意していること、学生、自然環境調査室と地域の市民が協力して、毎月1回保全活動を行っていること、棚田の畔作りやヨシの刈り払いの様子などが報告されました。活動によって地域の人たちとの繋がりも深まり、他で活動している人たちとの協力関係も深まってきていることなどについても併せて報告がありました。

文京学院大学環境教育研究センター

「ビオトープ計画」体験学習講座 ～新河岸川の鳥類調査を通して～



独立行政法人 科学技術振興機構の「サイエンスパートナーシップ・プロジェクト」により実施されている、中学生や高校生のためのビオトープ計画の手順を学ぶ体験学習講座について発表がありました。この講座は講師とTAを務める学生が、野外で生きものを調査し、コンピュータを利用した調査結果を分析・評価する手順を、参加した中学生・高校生に理解してもらうことが目的で、2009年の10月24日と25日に行われた講座について紹介がありました。手順として、新河岸川の川辺と水田で鳥類を観測し、その観測結果を大学のコンピュータ室でGISを用いて地図に取り込み、鳥類観測地点周辺の植生別面積のグラフを作成、さらに2グループに分かれて対象とする鳥類が生息しやすい自然環境を作るには、どこにどんな植生でどの程度の大きさのビオトープを配置すれば効果的かを検討したそうです。「今後もこのような活動を他の学校でもやって欲しい」などの参加者からの反応についての報告もありました。



明法中学・高等学校 科学部

野火止用水の水を追って



5回目の参加となる明法中学・高等学校科学部からは、昨年に引き続き野火止用水の水が流れて行く先をたどって、ゴミを拾いながらの川歩きをした様子が発表されました。今年は昨年到達した西高島平駅付近を出発し、新河岸川を下り隅田川との合流点まで至ったこと、西台橋などで水質調査のパックテストをしたこと、新河岸水再生センターや荒川下流河川事務所を通り、赤水門・青水門と呼ばれる旧新の岩淵水門を見たことなどが報告されました。今回の出発点から新河岸水再生センター付近までは護岸のために川に近付きにくく、川に親しめないこと、思ったより多くのごみが集まり、ポイ捨てする人が多く残念に感じたという感想も述べられました。次回はこの先の隅田川を下って東京湾を目指すそうです。また、科学部内では、環境を考えたものづくりも行われており、ソーラーエネルギーだけを利用して、1000個のLEDを点灯させるエコイルミネーションやエコプラネタリウムの制作、ソーラーバイクを引き継いだソーラーカートの制作にも取り組んでいるそうです。

NPO 法人エコシティ志木 伊藤さんによるコメント・質問

発表後にコメンテータから各発表者へ、以下のようなコメントと質問がなされ、発表者から質問に対する回答がありました。

早稲田大学への質問・コメント：キャンパスの湿地は素晴らしい環境なので今後とも保全活動を続けて欲しい。義務的に残すというよりは、残すための活動で楽しいことがあれば後輩たちにもつながると思うので、そうしたポイントがあれば教えてほしい。

回答：活動自体は野外の活動が多く和気あいあいとやっている。活動の後に懇親会を開いて意見交換をすることもある。今後は棚田に稲を植えて多くの人に参加してもらうことも考えている。

文京学院への質問・コメント：G I Sを使用して上流下流ごとで分析などをすれば活動の広がりがあると思う。今後G I Sを使ってやっていきたいことがあれば聞きたい。

回答：今後の川の観測については検討中である。環境調査は続けていきたいので、川にかかわることもあると思う。G I Sは今回のような活動を今後も予定している。

明法中学・高等学校への質問・コメント：歩きながらいろいろな風景が見えたと思うが、川の中から眺めればもっと色々な風景がみえると思う。川を歩きながら面白いと思うことがあれば教えてほしい。

回答：今後は水上バスなどを利用して川の内側から川沿いを観察することや、川沿いの住宅地や緑地などを調査することをしてみたいと思う。

また参加者から早稲田大学への質問があり「刈ったヨシは、里山だった時代は有効に処理されていたが、どのように処理されているか」という質問が出され、「現在は有効に処理できていないので、よい案があれば教えて欲しい」という回答がありました。





清瀬市立清瀬第四小学校

空堀川を調べる



清瀬第四小学校では毎年4年生が、学校近くの空堀川の川原に下りて陸や水の生きものを調べています。今年度の5月、6月、9月、12月に行った河原での学習と、7月に行ったカワニナの救出について、詳しい発表がありました。植物グループ、水の生きものグループ、陸の生きものグループという3つのグループに分かれて、それぞれ河原の植物や昆虫、魚などをつかまえたり、観察したりしたそうです。季節それぞれで違った植物や昆虫の観察ができたこと、場所によっていきものや魚の種類が違うこと、地域の人たちから植物の種類や魚のつかまえ方など色々なことを教えてもらえたという報告がありました。また、12月にはゴミを拾って川がきれいになったこと、植物のツルでなわとびをしたり、リースを作ったりして遊び、楽しかったという感想がありました。

埼玉県立浦和高等学校

埼玉県の川をめぐる環境 総合的な学習の時間における独自研究の紹介



身近な川に関して、「荒川の水質調査」「福川流域に生息する鳥類の調査」「鴻沼川の水源をたずねて」という3つの調査について発表がありました。「荒川の水質調査」では、荒川の上長瀬、熊谷、戸田、葛西臨海公園の4か所で水質調査を行い、調査結果を比較考察したもので、化学的水質判定・生物指標による水質判定ともに、一番身近な場所である戸田が最も汚れていたことが報告されました。下流に行くほど汚れが増していくのでは？という予想に反した結果でしたが、調査をすることで川の汚れの状況が把握できたので、川を汚さないようにしたいという感想がありました。「福川流域に生息する鳥類の調査」では、場所によって見かける鳥の種類や数が異なることに気付いた発表者が、福川の上谷田橋から1km圏で時間を決めて野鳥を観察したもので、7種類の野鳥が観察されたことが報告されました。「鴻沼川の水源をたずねて」では、発表者の身近な場所にある鴻沼川の源流がどこにあるのかをつきとめようと、川をたどって行った様子が報告されました。建物などに阻まれて別の川をたどってしまったが、それが面白かったこと、川をたどるといった体験が新鮮に感じられたことなどが感想として述べられました。



自由学園男子部高等科

校内を流れる立野川「僕たちの活動」



自由学園からは、校内を流れている立野川と栃木県にある学園農場横を流れている蛇尾川を対象に、生徒たちが行っている調査・活動の様子が報告されました。立野川では、流量の計測が毎日行われ、ゴミとりや草刈り、崩れた川岸の修繕なども行っているそうです。また、10年前から全国身近な川の一斉調査に参加、今年は新たに落合川の水生生物調査にも参加し、それをきっかけに立野川でも水生生物調査を行うなど活発な活動の様子が報告されました。昨年秋には高等科2年から学部2年までの生徒の中から総合治水の自主研究グループが作られ、降水量や水位・流速のモニタリングシステムによって立野川の洪水を解明しようとしているそうです。高校1年の発表者からは、来年はこの自主研究グループに参加したいという抱負も述べられました。

黒目川流域川づくり懇談会 藤井さんによるコメント・質問

発表後にコメントから各発表者へ、以下のようなコメントと質問がなされ、発表者からその回答がありました。

清瀬第四小学校への質問・コメント：清瀬第四小学校は近くに川や林があって、とてもいいところにある。それを活かして仲良く勉強をしていてもらいたい。川だけでなく、生き物や草花についても調べていて、素晴らしい活動だと思う。これから中学生になっても、川とつながっていて、また下級生にも色々なことを教えてあげてほしい。

浦和高等学校への質問・コメント：水質だけでなく、水生生物について調べていたが、日によって異なる水質と違って、水生生物は大体同じものが生息しているので、川の様子がよくわかると思う。また川を辿って調べていくと、発見がたくさんあり、楽しいと思う。そのような楽しさを、他の人にも伝えていてほしい。

これは総合学習で調べたということだが、総合学習の時間の中で皆さんが自分の関心のあることを学んでいるということか。

回答：同じテーマの中まで集まって、それぞれ興味がある班に分かれて調べている。

自由学園への質問・コメント：立野川と蛇尾川は全く異なる川だと思う。そこを見て、総合治水の自主研究グループをつくったことはすごいと思う。蛇尾川については、そこで大水をみたことはあるか。

回答：少し水が流れているのは一度見たことがあるが、氾濫しているのは見たことがない。

回答を受けて：大水についても地元の方のお話なども聞くと、色々なことがわかると思う。

立野川の自動観測システムを作ったことはすごいこと。また、蛇川について、河床の変化を見ていくことは、生き物の違いもわかり、大事だと思う。是非、続けて行ってほしい。





尚美学園大学・バーベナコーラス・スバル会コーラス 他

「不老川の応援歌」

作詞 高木宏尚
作曲 関口孝明



(1) 不老川は 良い川だ 私達の 学び川 汚れた時代も あったけど 皆の力で 跳ねかえす 流れる 流れる ふろうがわ 流れる 流れる げんきよく 不老川は 良い川だ 私達の 学び川	(2) 不老川は 良い川だ 私達の 癒し川 ふるさと 流れて 愛されて 皆の力で 日本一 輝け 輝け 不老川 輝け 輝け いつまでも 不老川は 良い川だ 私達の 癒し川 不老川は 良い川だ 私達の きらり川
--	--

今回「不老川の応援歌」「ビリーブ」「ふるさと」の3曲が披露されました。コーラスの前に「不老川の応援歌」を作詞された高木さんから、「3年前に作曲して頂き、環境まつりで発表したこの曲が、小学校の第二校歌として歌われるなど地域で広がりを見せている。」というお話があり、また作曲をされた関口さんからは「不老川が日本一汚い川と認定されてしまった時に、高木さんが、汚いものの中にもきれいなものがあるという信念のもとこの詩をつくり、作曲の話を頂いた。応援歌ということで誰もが素直に歌える曲がいいと思い作曲に取りかかったが、高木さんの詩とバーベナコーラスのおかげですんなり出来上がった。」というお話がありました。

★ 今後も期待
新しい発見があった
一緒に活動してみたい

感想カード

★ 今後も期待
新しい発見があった
一緒に活動してみたい

<p>早稲田大学山崎記念ボランティアセンター(IVACC)公認 早稲田大学所沢キャンパス湿地保全プロジェクト</p> <p><多かった感想></p> <p>★ 今後も期待</p>	<p>文京学院大学環境教育研究センター</p> <p><多かった感想></p> <p>★ 今後も期待 一緒に活動してみたい</p>	<p>明去中学・高等学校 科学部</p> <p><多かった感想></p> <p>★ 今後も期待</p>
<p>清瀬市立青瀬第四小学校</p> <p><多かった感想></p> <p>★ 今後も期待</p>	<p>埼玉県立浦和高等学校</p> <p><多かった感想></p> <p>★ 今後も期待 新しい発見があった</p>	<p>自由学園男子部高等科</p> <p><多かった感想></p> <p>★ 今後も期待</p>



展示パネル紹介



志木市立宗岡第三小学校



早稲田大学平山郁夫記念
ボランティアセンター(WAVOC)公認
早稲田大学所沢キャンパス湿地保全プロジェクト



明法中学・高等学校科学部



清瀬市立清瀬第四小学校

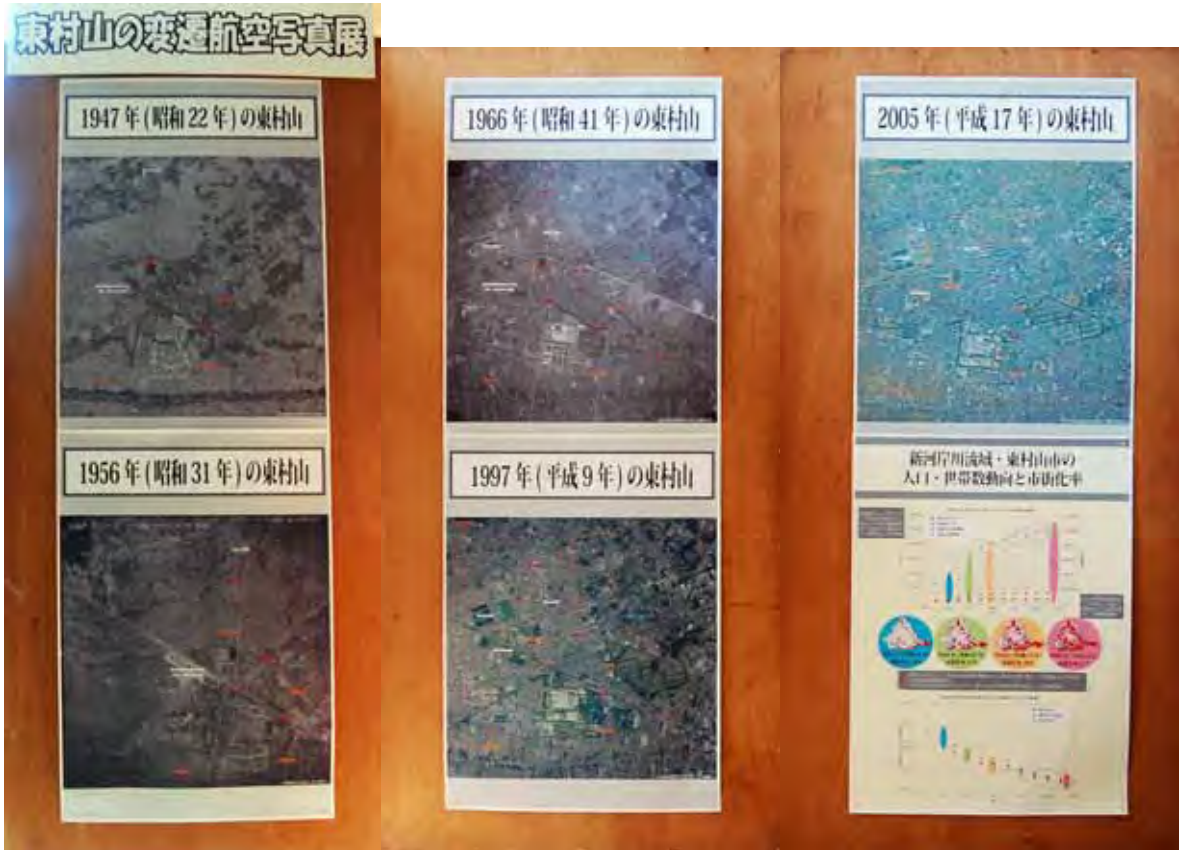


川づくり・清瀬の会



東村山市
南台・富士見小学校
土曜子ども講座
(水のふしぎ探検隊)

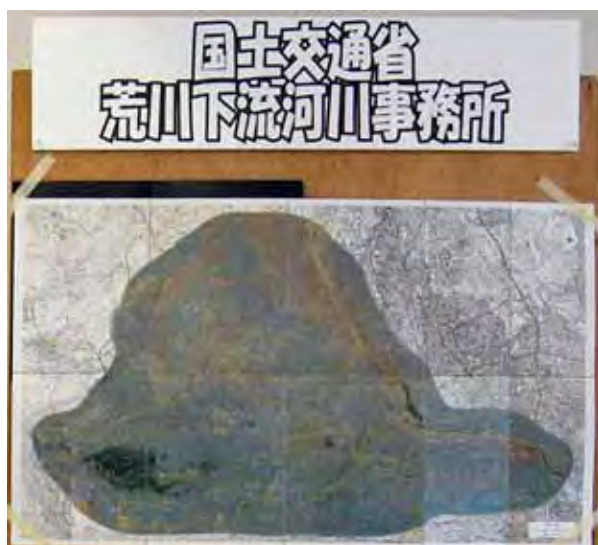




東村山の変遷航空写真展



東村山今昔写真展



自治体パンフレット



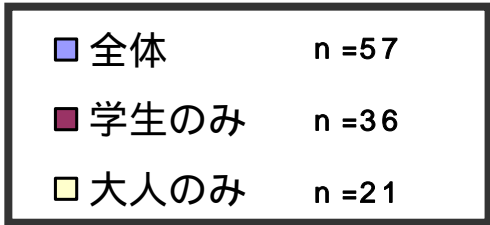
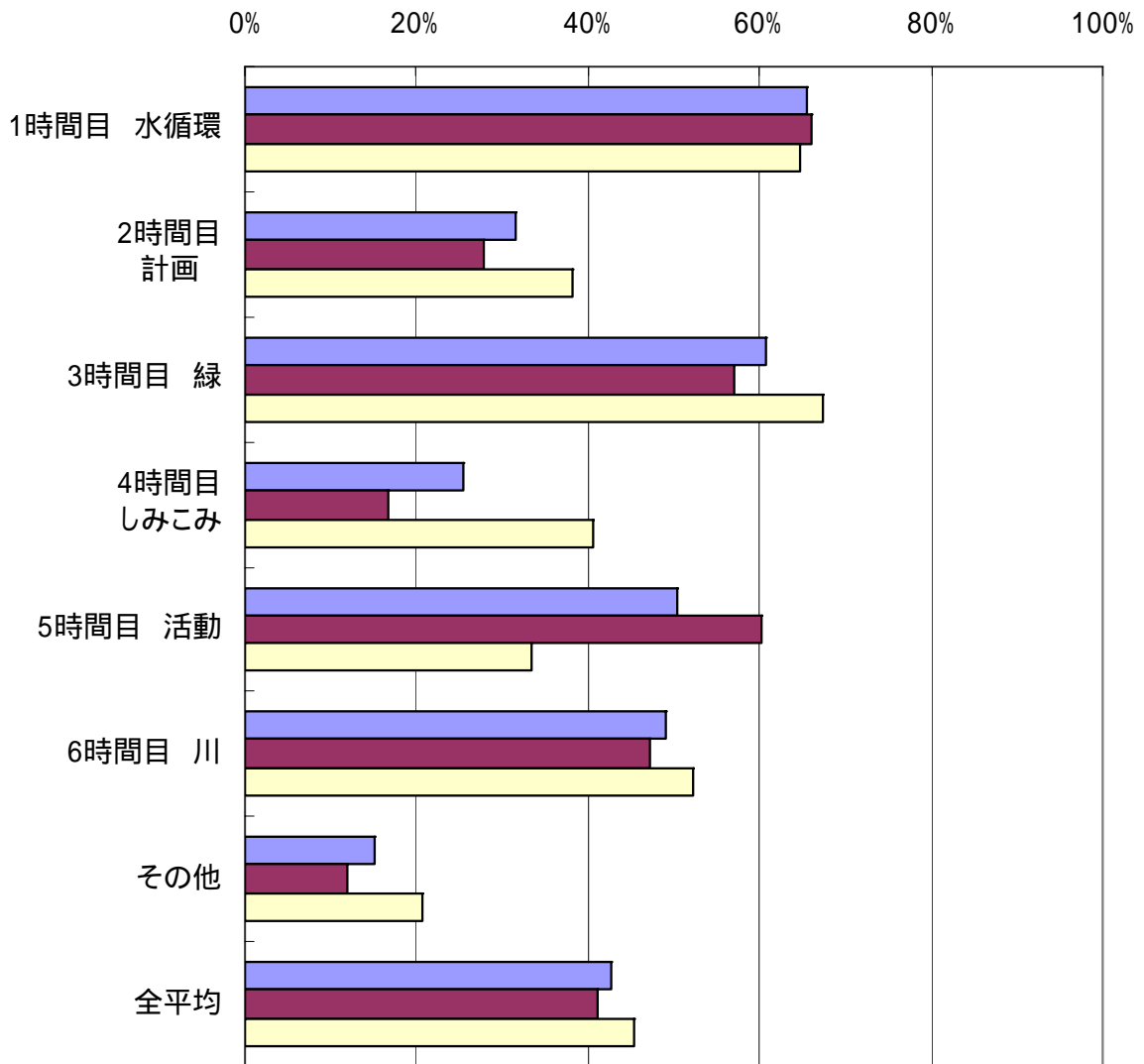
国土交通省 荒川下流河川事務所



新河岸川流域川づくり連絡会



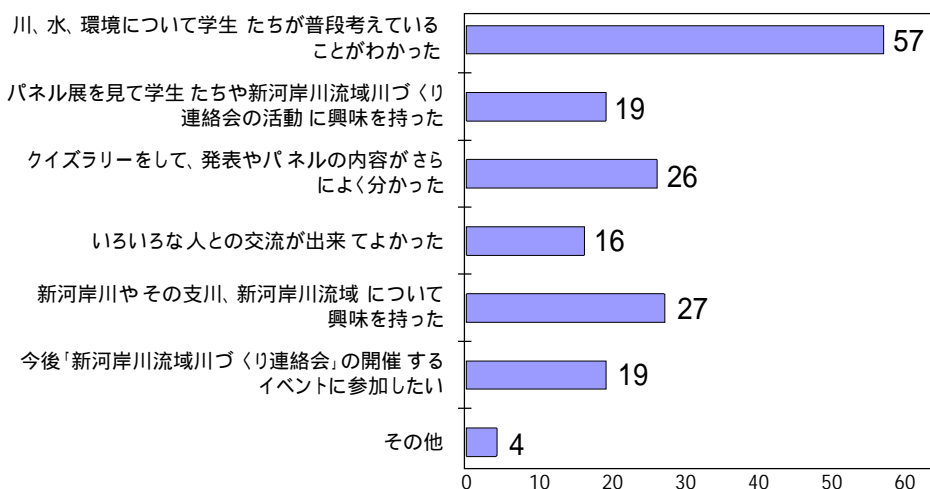
新河岸川流域水循環再生検定試験（学生版）結果





発表会を終えて（アンケート結果）

発表会についてどのような感想をおもちになりましたか？（n=72）



参加者の声

みんな活発に活動しているのに感心した。
 様々な年代の方々と流域について意見交換、情報交換、交流ができるのは大変良いこと。
 クイズラリーは小学生から大学生まで、それぞれの団体が取り組んでいることが知れて、興味深かったです。
 とっても良い発表会だと思います。みんなが川に興味を持つ事が大切だと思う。
 周囲の環境がそれぞれ違うが、テーマをしっかりとめて発表していた。川の体感 = 実際歩いて見てわかって良かったと思う。
 今まで、川の近くで暮らしていながら、知らない事がたくさんありましたが、今回の発表で少し知識を得られると共に、新しい発見が出来ました。
 皆さんが真剣に活動されている様子がよくわかりました。今後もぜひ発表会に参加したいと思います。
 大人の発表会もぜひやってください。（子どもの発表会と一緒にでもいいので）
 会場での意見交換としてカード手法は良好でありました。



みなさん、本当にありがとうございました。明日、来年へとつなげていきましょう。

